

## 平成 31 年第 1 回半田市議会定例会文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、2月27日午後1時45分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと、慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

議案第1号中、当委員会に分割付託された案件、議案第4号及び議案第5号については、一括議題とし、それぞれ補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

障がい者医療費助成事業などの療養給付費の増額補正の理由としてインフルエンザの早期流行のためとの説明であったが、流行の時期により補正予算が必要となるのはなぜか。とに対し、

医療機関に受診した翌々月の支払いのため、2月以降の受診は翌年度の予算での支払いとなりますが、早期に流行したことにより、受診と支払いが前倒しとなり補正予算の計上が必要となったものです。とのこと。

国民健康保険給付費の出産育児一時金について、少子化の影響と被保険者数の減少との説明であったが、当初予算で見込んでいた人数と実績についてどのようなか。とに対し、

出産育児一時金の支給対象者を当初は125人程度で見込んでいましたが、3月末までで100人程度となる見込みです。とのこと。

被保険者数の減少の要因をどのように把握しているか。とに対し、

少子化の他、被用者保険の加入対象の拡大に伴い、パート等で国民健康保険に加入していた方が被用者保険に加入されたことが要因と考えられます。とのことでした。

その後、討論を省略し、議案第1号中、当委員会に分割付託された案件、議案第4号及び議案第5号について、議案ごとに採決した結果、3議案とも、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。